

学習指導案（国語科）

学籍番号

- 一 対象 1学年9組 40名
- 二 日時 平成29年5月24日（水曜日） 第1校時 8:40～9:30
- 三 場所 1年9組
- 四 単元名（教材名） 宇治拾遺物語（絵師良秀）
- 五 単元について

(1) 教材観

本文の内容に関しては、一見非情にも思われる良秀の行動だが、彼の芸術至上主義という価値観を理解することが重要である。また初歩的な古文の文法理解を深めるために用言の活用や係り結びなどに力をいれていきたい。

(2) 生徒観

大人しく素直な生徒が多く、真面目に授業に取り組んでいる。ただ自己主張をするのを苦手としており、全体に対して発問をしても反応が薄いため、授業内容を理解しているか分かりにくい。生徒が理解しているかを把握するためにも適宜確認を行うことや多くの生徒に発言してもらうことを意識する必要がある。

(3) 指導観

内容を理解することを最低限の目標とし、その目標に向けて本文で省略された語を補い、主述目的の関係を明らかに解説していく。

六 単元の目標

- ・読み取った文章に対する自分の意見を持ち、表現することが出来る。
- ・語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、豊かな語彙を身につける。

七 単元の評価規準

能力	<p>国語への態度 関心・意欲</p> <p>・登場人物の行動や心情について興味をもち、進んで話し合ったり読みとったりして、作品を読もうとする。</p>
----	---

八 単元の指導計画（単元目標を達成するための指導計画を示す。）

言語についての知識・理解・技能	読む能力
	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語をとらえ、文章の大意を理解している。 係り結びに注目し、心情を読み深めている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の古典単語、用言の活用について正しく理解し読解に生かすことが出来る。

次時	学習活動	指導上の留意点	評価基準 (評価の観点)
一	<ul style="list-style-type: none"> ・『宇治拾遺物語』についての復習 ・音読を合計二回行う (全体、ペア) ・現代語訳をしながら内容理解をしていく。 ・動詞の活用や古語、主語などを意識して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度『宇治拾遺物語』は学んでいるので復習をする。 ・むずかしい読み方や単語がどこで切れるのかを理解させる。 ・主語や目的語、主格の助詞を補いつつ一緒に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度習った内容を覚えているか。 ・大きな声で正しく読めているか。 ・発問に対して積極的に答えているか。
二	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・現代語訳をしながら内容理解をしていく。 ・動詞の活用や古語、主語などを意識して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の活用につまっていたら文法書を使用し、再度確認させる。 ・良秀の行った行動や感情について理解できるかどうかなどの発問を投げかけ、生徒の興味を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の関係を理解して現代語訳が行えているか。
三	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・現代語訳をしながら内容理解をしていく。 ・動詞の活用や古語、主語などを意識して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書や単語帳を使用して意味を確認させる。 ・随時、質問や分からないことがあるかを確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書や本を使用して学びに繋がっているか。
四	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・現代語訳をしながら内容理解をしていく。 ・動詞の活用や古語、主語などを意識して取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解できているか。

